

## 統一選考についての注意事項

2019年3月2日(土)に予定されている統一選考では、担当教員との個別面接および事前課題(次ページ参照)に基づいたグループ討論を予定しています。時間・場所は改めて連絡しますが、必ず以下を持参するようにしてください。

- ・課題文献および自分の応募書類を印刷したもの(必要に応じて参照できるように)
- ・最新の成績表(コピーでかまいません。選考の参考にします)
- ・学生証(本人確認のため)

## 応募書類について

・全ての文書は、A4サイズ・横書きで作成してください。なお、記述は全て日本語で行ってください。

### 1 ページ目 <自己紹介・志望動機>

最初に氏名、所属学部・学科、学籍番号、電子メールアドレス、統一選考日当日連絡の取れる電話番号を記載すること。ページの残りをを使って、自己紹介と志望動機を記すこと。後者には、入会が認められたらどんな研究をしたいかについての記述を盛り込んでください。また、留学予定者は必ずその旨を記載してください。

### 2 ページ目以降 <アメリカ民主主義の危機?>

近年、アメリカの民主主義が危機に瀕しているのではないかという議論が盛んに行われています。そこで大きな存在感を持っている次の書物(翻訳でかまいません)を読んだうえで、二つの課題に取り組みてください。二つの間で、必ずページを変えること。またいずれの課題についても、必要に応じて他の文献を参照し、適切に注を付してください。

Steven Levitsky and Daniel Ziblatt, *How Democracies Die: What History Reveals about Our Future* (New York: Penguin Random House, 2018). (邦訳 スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット(渡野大造訳)『民主主義の死に方:二極化する政治が惹く独裁への道』(新潮社, 2018)) …この文献は、2019年度春学期の授業時にも取り上げる予定です

**課題 1:** 以下のブログ記事を読み、そこでなされている上の書物の論評がどのように・どの程度妥当なのか、あるいは妥当でないのかを、根拠を明確にしながら 2000字以内で論じてください。

Emily Holland and Hadas Aron, "We Don't Know How Democracies Die," LSE US Centre blog.  
URL: <http://bit.ly/2EvsEVU>

**課題 2:** レヴィツキーとジブラットの書物で、アメリカの歴史的過去を参照しつつ行われている議論に着目して、優れているところと限界について、3000字以上で論じてください。対象としては、取り上げられている歴史的な出来事の解釈や位置づけについて、また今日の政治を考える際に歴史的過去を援用する際の仕方について等が考えられるでしょう。様々な論点を取り上げてかまいませんが、全体としてまとまった文章になるよう心がけ、また感想を求めているわけではないので、必ず根拠を明確にして論じること。

## 課題に取り組むにあたっての注意点

・本課題の記述は、選考で最も重視されますので、よく考えて取り組んでください。評価に際しては、出来不出来を無視するわけではありませんが、課題に正面から取り組んでいるか(形式的な指示を守っているかを含む)を最も重視します。

・文書全てを一つのファイルとし、マイクロソフト・ワード形式で担当教員宛での電子メールに添付して送付すること。受信を確認し次第その旨返信するので、1日以上経っても返信のない場合は確認の連絡をとってください。提出の遅れや他の手段による提出は理由の如何に関わらず一切認めないので、余裕を持って行動すること。

送付先アドレス: [okayama@keio.jp](mailto:okayama@keio.jp) (件名を「研究会応募」とすること)  
締め切り: 2019年2月28日(厳守・当方が受信した時刻で判断します)